

平成29年度第5回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成29年8月17日(木)
午後1時30分～午後3時
場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 地域包括ケア協議会の報告(資料1)

(2) 在宅医療推進について

1) 地域包括ケア市民フォーラムアンケート結果(資料2-1)

2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会アンケート結果(資料2-2)

(3) サルビー見守りネットについて(資料3)

1) 市外事業者の利用者登録について

2) ポータルサイトの「様式」ページ新設について

3) サルビー見守りネット活用に関するアンケートについて

連絡事項

・八千代病院祭の案内

・あんジョイ生活サポーター養成研修の案内

・認知症を知る講演会の案内

・在宅医療・介護連携推進のための研修会

①テーマ:「地域包括ケアシステムにおける社会参加を重視したリハビリテーション」

日時:平成29年8月24日(木)午後7時から

場所:アンフォーレ ホール

講師:竹田 徳則 氏(星城大学 リハビリテーション学部教授)

②テーマ:虐待についての勉強会

日時:平成29年8月30日(水)午後7時から

場所:市民会館大会議室

講師:和田 行男 氏

③テーマ:在宅服薬支援における多職種連携

日時:平成29年9月7日(木)午後6時30分から

場所:市民会館 視聴覚室

講師:服部 宏明 氏(あおい薬局)



次回 平成29年9月21日(木)午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室

平成 29 年度地域包括ケアの事業計画について

1 地域での取り組み

(1) 地域見守り活動の推進

- ①見守り活動チェックリストの作成と活用
- ②今年度 3 町内福祉委員会を見守り推進地区に指定。

(2) 介護予防・生活支援に関する住民活動の強化と創設

- ①見守り協力店（生活支援・見守り協力事業）への働きかけ
- ②町内会健康体操教室の自主化に向けた準備
- ③地域の通いの場の創出と拡充
- ④高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業の活用の促進
- ⑤地域リハビリテーション活動支援事業の実施

(3) 地域ケア個別会議の充実

医療職の参加の促進

(4) 地域ケア地区会議の充実

中学校区	地域ケア地区会議で取り上げる課題（方向性）
東山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の方も含めたすべての方が参加できるカフェ型サロンの開催 ・ 地域住民と事業所の垣根を超えた情報交換の場の創設
安城北	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らし高齢者になっても、安心して暮らせる町づくり ・ 支援を必要とする世帯が困りごとを相談しやすい町づくり
篠目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職と住民が協力しあえる地域づくり
安城西	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者も集える場所を増やし、見守りや閉じこもり予防につなげる。 ・ 地域で認知症の人やその家族を支える体制を整える。
安城南	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心してゴミ出しの支援が受けられる地域の仕組みづくり
安祥	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりが生き甲斐を持って生き生きと暮らせる地域づくり
明祥	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症になっても、地域の中で不自由なく生活していける環境の整備
桜井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で認知症の人や家族を支えることが出来る。 ・ 認知症の人でもそうでない人も集える場を増やす

2 地域ケア推進会議の開催と各部会の活動

- (1) 開催回数 12回
- (2) 参加者 15の部会から代表2名
- (3) 各地区の地域ケア地区会議から提案された課題の検討
- (4) 各部会主催のよる研修会の開催（在宅医療介護連携推進のための研修会）

部会名	内 容
病院	病院主催の研修として実施予定
医師会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会
医師会 ケアマネット	在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法
歯科医師会	口腔ケアと嚥下での多職種連携 嚥下訓練と連携について
薬剤師会 ケアマネット	在宅服薬支援における多職種連携に関する研修会
訪問看護 ネットワーク	事例検討会
訪問リハネット	リハビリテーションのゴール設定の考え方（リハビリテーションの視点から） 事例検討会
デイネット	地域との事業所（施設）との関係づくりについて
ヘルパーネット	うつ病等精神疾患の人とのかかわり方と疾患の基礎知識
施設	アンガーマネジメント
グループホーム	虐待についての勉強会 薬の副作用・薬を減らすための取組についての勉強会
保健福祉	住民による移動支援 精神障害者（引きこもりを含む）への支援（関係機関との連携、具体的なアプローチ方法について）

(5) 各部会でテーマについて検討

部会	検討テーマ
病院部会	緊急時の受け入れ
医師会	在宅医療の充実に向けて
歯科医師会	医療・介護連携での歯科医療の役割
薬剤師	多職種連携
訪問看護 ネットワーク	訪問看護の啓蒙活動の一環としての、医師会との勉強会
訪問リハネット	自立支援を視野に入れた目標設定について 地域における介護予防の取り組みについて
ケアマネット	I C Tの活用 介護保険制度運営上の問題点
デイネット	総合事業と地域との連携について
ヘルパーネット	総合事業参入について
施設	B C P策定と市町村、各施設との連携の構築
グループホーム	地域の認知症をサポートする支援の取組について 各グループホームで困っていることについて 部会を超えた異業種との繋がりが持てる機会の検討
保健福祉	住民主体（地域活動）による移動支援について ・情報共有をはかった上での新たな見守り活動の構築 ※（サロン・通いの場の余暇活動の充実のためのレクリエーションの提案等、介護職が協力できそうなことを整理してデイネットに情報提供する。）

3 主な取り組み

(1) 安城市医療・介護・福祉ネットワーク「サルビー見守りネット」の活用の推進と近隣市との連携

①在宅医療介護連携推進のための研修会において好事例などを提示し利用の推進を図る。

②近隣市の導入状況把握と意見交換

(2) 在宅医療に関する普及啓発

①介護・福祉職への啓発

在宅医療介護連携推進のための研修会の開催（*2（4）の表のとおり）

②市民への啓発

在宅医療に関するガイドブックの作成に向けた準備

(3) 在宅医療・介護連携の強化

①在宅医療介護連携推進のための研修会の開催（*2（4）の表のとおり）

②在宅医療サポートセンター事業に関する検討

平成30年度以降は市が実施するため、関係者を含めて検討する。

(4) 認知症施策の強化

①認知症初期集中支援チームの活用と連携

②認知症カフェの充実

桜井中学校区にて認知症カフェ開設（市内計5か所）

③認知症高齢者捜索・声かけ模擬訓練の実施

中学校区	開催時期・会場など
東山	調整中
安城北	8月18日 コープ野村にて開催予定
篠目	調整中
安城西	4月19日 三河安城駅前のイベント内で開催
安城南	調整中
安祥	調整中
明祥	調整中
桜井	調整中

④見つかるつながるネットワークの推進

9月30日 認知症を知る講演会内にて寸劇による周知

⑤認知症サポーターステップアップ講座の開催

秋ごろに開催予定

(5) 地域における介護予防事業の充実

町内会健康体操教室をはじめとする地域の介護予防に資する活動への支援

(6) 子ども、障害者を含めた地域包括ケアシステムの構築に向けた検討

自立支援協議会（障害福祉課）において、地域包括ケアについての勉強会、地域包括支援センターと障害者サービス事業所との意見交換会の開催。

在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

演題「アンガーマネジメントセミナー」 講師由宇 未空氏(アイキャリア株式会社)

資料2-2

※研修会の参加者 158名。アンケート回収138名(回収率87.3%)。

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	1
2	歯科医師	1
3	薬剤師	0
4	看護師	23
5	保健師	6
6	理学療法士	6
7	作業療法士	2
8	言語聴覚士	0
9	栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	6
12	ケアマネジャー	27
13	社会福祉士	15
14	介護福祉士	39
15	ヘルパー	4
16	その他	8
0	不明	0
合計		138

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	8
2	診療所	7
3	薬局	0
4	訪問看護ステーション	14
5	老人保健施設	21
6	特別養護老人ホーム	20
7	有料老人ホーム等	1
8	居宅介護支援事業所	21
9	地域包括支援センター	11
10	在宅介護支援センター	0
11	介護サービス事業者等	17
12	その他	18
0	不明	0
合計		138

3. 研修の反応

(1) わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	105
2	まあまあわかりやすい	30
3	どちらでもない	3
4	あまりよく分らない	0
5	全く分らない	0
0	不明	0
合計		138

(3) 今後に活かせるか		人数
1	活かせる	84
2	部分的に活かせる	45
3	どちらでもない	7
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
0	不明	0
合計		136

(2) 満足度		人数
1	満足	80
2	まあ満足	46
3	どちらでもない	9
4	やや不満	2
5	不満	0
0	不明	0
合計		137

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 施設での接遇マナー研修
- ・ 人と上手に付き合う方法(ご利用者、入所者など)
- ・ 新人職員の育て方
- ・ 上手な話の仕方、聞き方、コミュニケーションの取り方
- ・ 怒っている人に対する対応の仕方
- ・ マナー、コミュニケーション
- ・ このようなメンタルヘルスに関する研修
- ・ グリーフケア、悲しみの気持ちのマネジメント
- ・ 人にわかりやすく物事を伝えるための研修
- ・ チームワーク
- ・ メンタルケアの研修、うつ病の人が増えている。患者との(職場の)接し方、自分がなった時
- ・ 地域活動・認知症カフェ
- ・ 認知症との付き合い方
- ・ チームワーク向上、ポイント
- ・ 運営、マネジメントについて
- ・ 記録の書き方を学びたいです
- ・ 障害当事者の話を聞かせてほしい
- ・ 介護事故、訴訟、その結果について
- ・ 多職種の連携についての研修会
- ・ コミュニケーション
- ・ 貧困、生活困窮者の支援や現状について

5. ご意見・ご感想等

- ・自分の怒りをなんとなくわかる事ができました。今後怒りのテクニックを使ってみようと思いました
- ・自分の怒りのタイプを知ることができ、怒りと付き合うテクニックは参考になりました
- ・自分のことが知れた
- ・怒りのコントロールは以前から興味があり、新聞や本で見たことがありました。ちょっとしたことを意識することで、仕事やプライベートに役立ちそうだと感じました。ぜひ実践したいです。
- ・怒りとは瞬間的なものだけではなく、コントロールできるものと理解できました。
- ・職場、家庭で、怒りに点数をつけてみます
- ・これからの生活や人間関係にとっても役立つと思いました
- ・怒りと上手に付き合ってみようと思います
- ・怒ることは自然なことだと言われ安心感を持ってました
- ・職場というより家庭内で活かすことができそうです
- ・今日聞いた話を家族にも特に主人に話したい、参考になりました。
- ・お話がすっきりはっきり聞き易かったです。私は怒りっぽいので参考にさせていただきます、ありがとうございました
- ・また一つ自分の知らない自分を見つけることができた気がしました
- ・常に深く呼吸するようにしたいです
- ・怒りを客観的に見ることができそうです、ありがとうございました
- ・私は短気で、怒りがすぐに表に出てしまう為、少しずつコントロールできたらと思います。ありがとうございました
- ・生活や仕事に具体的に活かせると思いました。ありがとうございました
- ・とてもわかりやすかったです
- ・とてもわかりやすかったです。なるべく怒りは少なく過ごして生きたいと思います。
- ・話し方が上手でわかりやすかった
- ・とてもわかりやすく楽しい講義でした。ありがとうございます。
- ・楽しく話して頂けて自分にスット入ってきました。ありがとうございました
- ・ためになりました、ありがとうございました
- ・今回は面白かったです、ありがとうございました
- ・とてもわかりやすい研修でした、ありがとうございました

在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

平成29年度7月1日(土)「第1回 安城市エンドオブライフ・ケア」講師:安城更生病院 杉浦真先生

※研修会の参加者 28名。アンケート回収 28名 (回収率 100%)。

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	3
2	歯科医師	0
3	薬剤師	0
4	看護師	11
5	保健師	0
6	理学療法士	0
7	作業療法士	1
8	言語聴覚士	0
9	栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	1
12	ケアマネジャー	6
13	社会福祉士	0
14	介護福祉士	5
15	ヘルパー	0
16	その他	1
0	不明	0
合計		28

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	4
2	診療所	5
3	薬局	0
4	訪問看護ステーション	6
5	老人保健施設	2
6	特別養護老人ホーム	0
7	有料老人ホーム等	1
8	居宅介護支援事業所	4
9	地域包括支援センター	2
10	在宅介護支援センター	0
11	介護サービス事業者等	3
12	その他	1
0	不明	0
合計		28

3. 研修の反応

(1)わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	26
2	まあまあわかりやすい	1
3	どちらでもない	0
4	あまりよく分からない	1
5	全く分からない	0
0	不明	0
合計		28

(3) 今後に活かせるか		人数
1	活かせる	21
2	部分的に活かせる	6
3	どちらでもない	1
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
0	不明	0
合計		28

(2) 満足度		人数
1	満足	23
2	まあ満足	5
3	どちらでもない	0
4	やや不満	0
5	不満	0
0	不明	0
合計		28

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 終末期の接し方
- ・ 同じ内容でも多職種と話す機会があると勉強になる。
- ・ 地域の連携(すぐに連絡できる体制づくり)
- ・ 麻薬使用等、除痛に関して
- ・ 他施設・多職種のグループワークができる研修。(倫理の第2段)

5. ご意見・ご感想等

- ・ たいへん勉強になり、改めて仕事の意欲につながりました。
- ・ とても分かりやすく、現場ですぐに生かせる内容でした。
- ・ たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 何回もやらないと、なかなか実践できないと思いました。
- ・ 多くの参加、職種で研修を重ねてほしい。
- ・ このような研修を何回もやってほしい。
- ・ 受講前は長時間だと思っていましたが、あっという間で有意義でした。
- ・ 医療の現場で実際にあった事例を用いたの研修であって、とても良かった。
- ・ わかりやすい講義でした。グループワークも活発にできましたが、倫理に関する事は答えのないむづかしさがあります。
- ・ 勉強になりました。
- ・ いい勉強になりました。
- ・ ロールプレイはどの役も役に立つ。

第1回 安城市エンドオブライフ・ケア研修会 アンケート結果

研修日時 平成29年7月1日(土)
13時30分～18時10分
場 所 安城市医師会館

研修会の参加者 28名

アンケート回収 28名(回収率 100%)

1. 興味を持った項目 (複数回答)

項目	人数
コミュニケーションスキル	16
スピリチュアルケア	8
エンドオブライフ・ケア	20
アドバンス・ケア・プランニング	6
臨床倫理	13
構造構成主義	7
合計	70

2. 内容の価値について

価値の程度	人数
極めて価値あり	14
かなり価値あり	12
いくらか価値あり	2
価値が少ない	0
価値無し	0
合計	28

3. 内容に対する時間料

時間料	人数
多すぎ	0
やや多い	4
ほぼ適当	18
やや少ない	6
少なすぎ	0
合計	28

4. 研修の必要性

必要性について	人数
強く思う	21
どちらかと言えば思う	4
思う	3
あまり思わない	0
思わない	0
合計	28

5. 今後の研修参加希望

今後の参加希望	人数
強く思う	18
どちらかと言えば思う	6
思う	3
あまり思わない	1
思わない	0
合計	28

6. 今後取り上げて欲しい研修テーマ(複数回答)

研修テーマ	人数
胃瘻の選択	7
事前指示	4
麻薬の使い方	4
多職種連携	16
判断能力をどう判断するか	17
代理判断	10
栄養の中止、差し控え	4
QOLの評価	5
非がんの緩和ケア	13
栄養管理	7
その他	2
合計	89

※その他

- ・認知症事例
- ・認知症患者の手術適応

7. 研修会全体の良かったと思う事

- ・講義と実践で構成されており、時間の長さをそれほど感じなかった。
- ・お茶とお菓子があったのが嬉しかった。
- ・多職種で話合えたのは良かったです。
- ・いろいろな職種の方の意見をきき、自分にない視点に気づくことができた。
- ・「人生の最期」に言葉の取り方にいろいろあるんだと感じました。
- ・多職種の方々の意見がきけた。
- ・閉き手のむずかしさを肌で感じよい体験ができた。
- ・初めての参加で医療側の立場で対応した所あり。
- ・患者の立場を考えながら会話してゆきたい。
- ・答えの出ないことが多いですが、その難しさを一緒に考え共感できたこと。
- ・多職種の方の様々な意見をうかがえた。
- ・ロールプレイを体験できたこと。
- ・内容としてこれまでも近いものがあったが、改めて多職種で話し合うことができた。
- ・他施設いろんな立場職種の考えを聞いた。
- ・ロールプレイに参加して患者家族の気持ちに近づけたことは大きい。
- ・話合いのスキルが身につく。
- ・病棟全体のスタッフにきいてもらいたい内容でした。
- ・価値観の相違を意識していきたいです。
- ・ロールプレイで患者の気持ちになりきれたこと。
- ・病棟、福祉サービス、在宅医と話せたことは良かった。
- ・改めてターミナルや看取りについて考える機会になった。
- ・時間の守り方が上手い。
- ・ロールプレイで患者・家族役ができたこと。
- ・閉き手の難しさが体験できたこと。
- ・多職種の方の意見を聞くことができた。
- ・事例を通して実際にロールプレイ等を丁寧に学べた。
- ・皆のグループワークの意見が貴重。
- ・ボリュウムが一杯でしたが意思決定と臨床倫理について机上で考える機会を持てて良かったです。
- ・ロールプレイも良かったです。
- ・事例検討で多職種の話が聞け良かったです。
- ・ロールプレイではあまり今まで経験がなかったので、経験できて良かったです。
- ・具体的事例でわかり易かったが、多様な意見があることがよく分かる内容であった。
- ・多職種で情報交換、ディスカッションできたのは様々な価値観を学べて良かった。
- ・グループディスカッション①②共に多職種の意見が聴けて良かったです。
- ・倫理・なかなか難しい問題ですが、考え方が学べて良かったです。
- ・まとまった時間をかけて勉強できて良かったと思う。
- ・いろいろな視点で話合いができたことが勉強になった。
- ・事例を取入れたグループワークで事例毎にかなりエネルギーを使いました。正解はないのですが、いろいろ考えさせていただきました。
- ・先生と各職種の方の話を聞いて良かった。

8. 研修会全体の芳しくなかったと思う事

- ・もう少し、時間をとって、話しをもっと深めたかったです。
- ・倫理的課題むずかしすぎました。
- ・18時まで・・・冬季だったら、真っ暗!
- ・事例検討の時間が足りなかったです。
- ・最後に意見交換の時間がもう少しほしかったです。
- ・18時過ぎていたので発音しづらかった。

9. その他

- ・ステップアップ的に連続開催して欲しいです。
- ・もっと深く勉強したいと思いました。

テーマ

平成26年度「自宅で大往生～『ええ人生やった』と言うために～」
 平成27年度「在宅緩和ケアで朗らかに生きよう」
 平成28年度「老いても病んでも自分らしく過ごすために」
 平成29年度「大人の終活新作法」

講師

中村伸一氏(おおい町国保名田庄診療所所長)
 小笠原文雄氏(医療法人聖徳会小笠原内科院長)
 紅谷浩之氏(オレンジホームケアクリニック代表)
 金子稚子氏(ライフ・ターミナル・ネットワーク代表)

	26年度	27年度	28年度	29年度
来場者数	150	180	207	450
アンケート回答数	108	100	125	262

1. 年齢		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	20代	4	3.7%	2	2.0%	2	1.6%	1	0.4%
②	30代	9	8.3%	13	13.0%	13	10.4%	9	3.4%
③	40代	17	15.7%	10	10.0%	8	6.4%	11	4.2%
④	50代	27	25.0%	27	27.0%	20	16.0%	43	16.4%
⑤	60代	26	24.1%	31	31.0%	37	29.6%	91	34.7%
⑥	70代以上	25	23.1%	16	16.0%	45	36.0%	106	40.5%
0	不明	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.4%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

2. 性別		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	男	40	37.0%	21	21.0%	32	25.6%	56	21.4%
②	女	68	63.0%	79	79.0%	92	73.6%	206	78.6%
0	不明	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

3. 職種		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	地域住民等	24	22.2%	16	16.0%	43	34.4%	157	59.9%
②	民生委員・町内会関係者等	0	0.0%	30	30.0%	16	12.8%	26	9.9%
③	医療職	16	14.8%	14	14.0%	15	12.0%	10	3.8%
④	介護・福祉職	36	33.3%	32	32.0%	27	21.6%	19	7.3%
⑤	その他	28	25.9%	6	6.0%	21	16.8%	40	15.3%
0	不明	4	3.7%	2	2.0%	3	2.4%	10	3.8%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

4. わかりやすい内容か?		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	分かりやすかった	94	87.0%	90	90.0%	98	78.4%	162	61.8%
②	まあまあ分かりやすかった	9	8.3%	7	7.0%	24	19.2%	75	28.6%
③	よく分からなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.3%
④	まったく分からなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0	不明	5	4.6%	3	3.0%	3	2.4%	19	7.3%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

5. 満足度		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	大いに満足	76	70.4%	83	83.0%	85	68.0%	138	52.7%
②	おおむね満足	26	24.1%	12	12.0%	37	29.6%	96	36.6%
③	やや不満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	8	3.1%
④	不満	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
	不明	6	5.6%	5	5.0%	1	0.8%	20	7.6%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

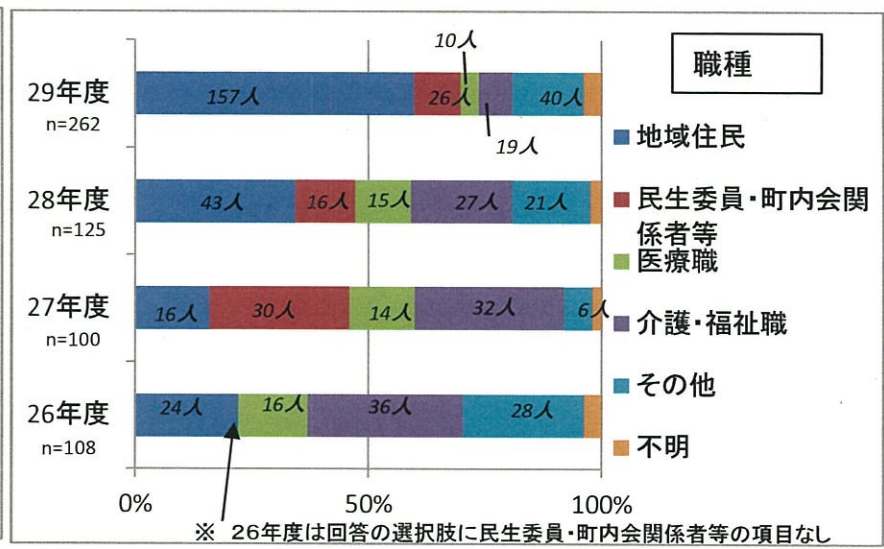
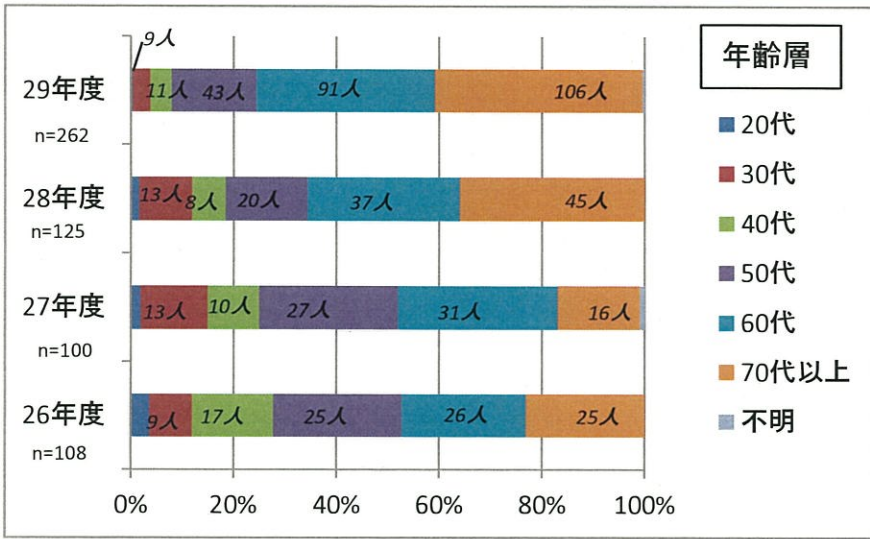
6. 人生の最期をどこで迎えたいか?

【自分】		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	自宅	73	67.6%	81	81.0%	81	64.8%	147	56.1%
②	病院	12	11.1%	8	8.0%	24	19.2%	59	22.5%
③	介護施設	8	7.4%	3	3.0%	12	9.6%	30	11.5%
④	その他	8	7.4%	4	4.0%	1	0.8%	4	1.5%
	不明	7	6.5%	4	4.0%	7	5.6%	22	8.4%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

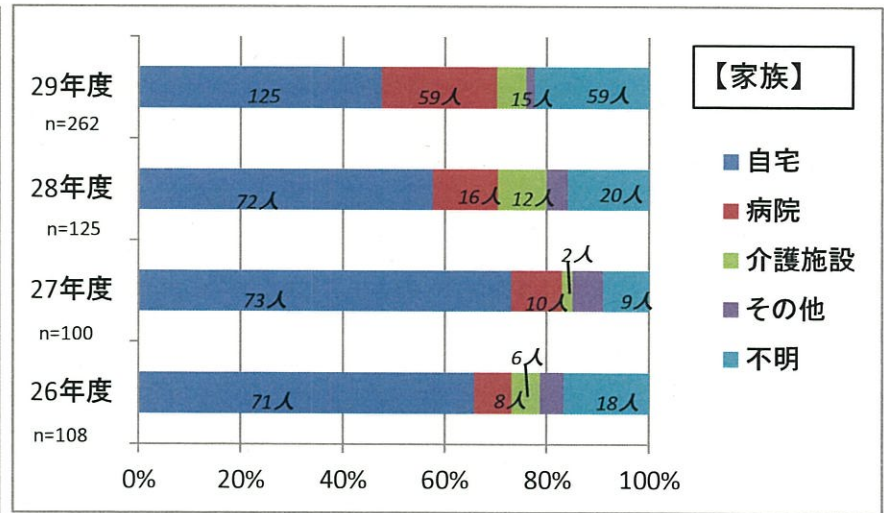
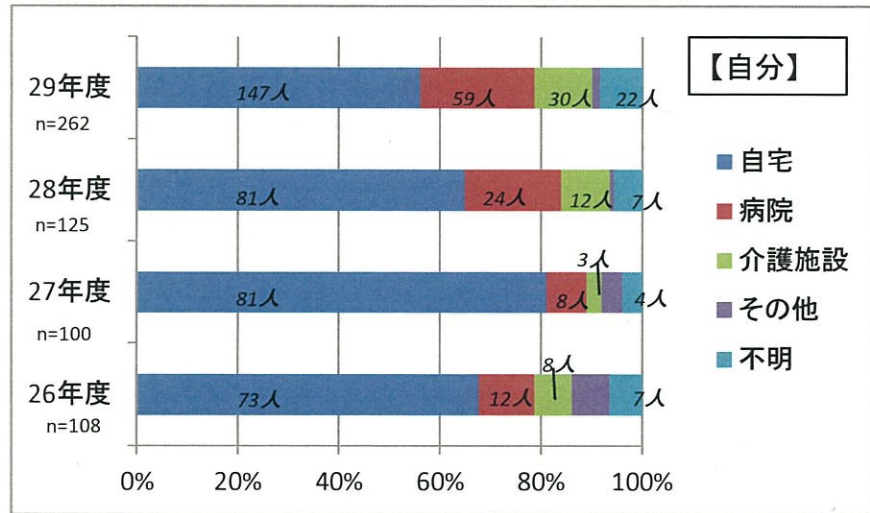
【家族】		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	自宅	71	65.7%	73	73.0%	72	57.6%	125	47.7%
②	病院	8	7.4%	10	10.0%	16	12.8%	59	22.5%
③	介護施設	6	5.6%	2	2.0%	12	9.6%	15	5.8%
④	その他	5	4.6%	6	6.0%	5	4.0%	4	1.5%
	不明	18	16.7%	9	9.0%	20	16.0%	59	22.5%
合計		108	100.0%	100	100.0%	125	100.0%	262	100.0%

7. 今後、講演会で聞きたい内容		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
①	健康維持・増進	24	22.2%	25	23.1%	35	32.4%	67	25.6%
②	介護予防	20	18.5%	19	17.6%	17	15.7%	45	17.2%
③	認知症	28	25.9%	34	31.5%	30	27.8%	64	24.4%
④	シニアライフ	20	18.5%	17	15.7%	33	30.6%	79	30.2%
⑤	人生の最期	37	34.3%	33	30.6%	41	38.0%	63	24.0%
⑥	その他	2	1.9%	2	1.9%	2	1.9%	6	2.3%

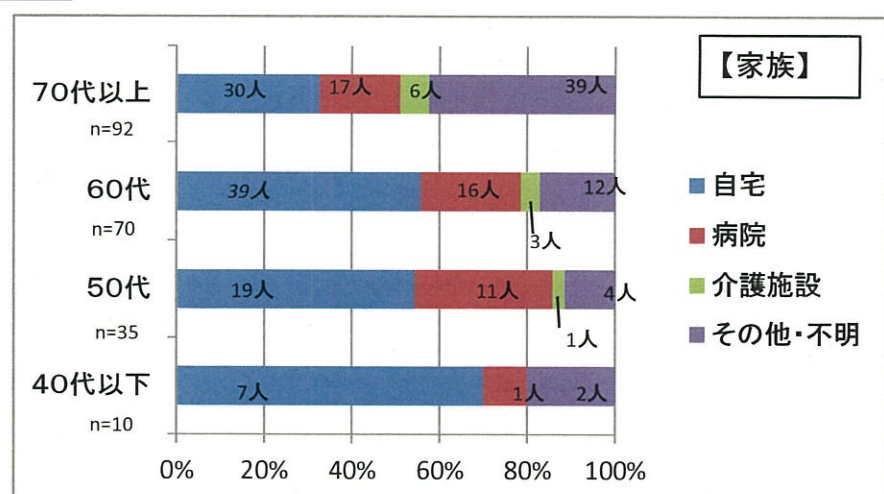
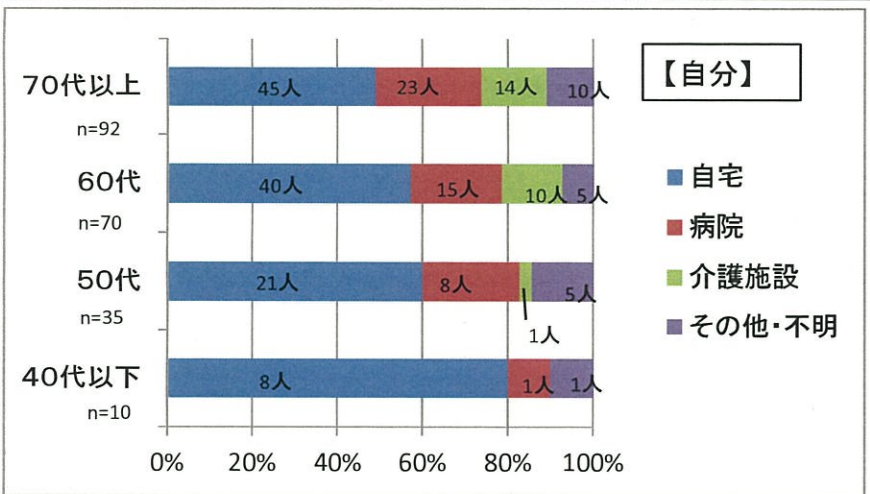
地域包括ケア市民フォーラム アンケート回答者の年齢層と職種



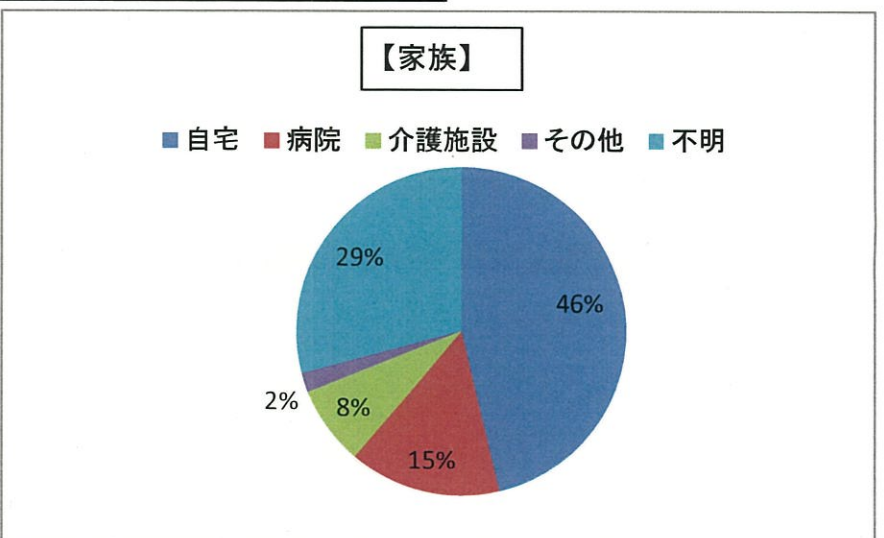
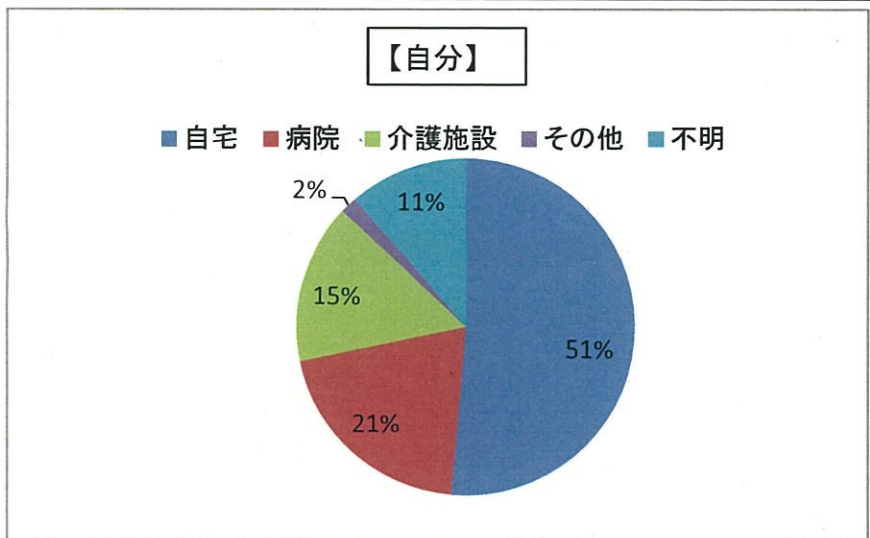
人生の最期をどこで迎えたいか①年度別



人生の最期をどこで迎えたいか② 平成29年度地域住民 年齢別



人生の最期をどこで迎えたいか③ 平成26年度から29年度までの地域住民延べ240人の選択



アンケート結果より

- ・年々、一般市民の参加が増えている。
- ・「人生の最期をどこで迎えたいか」について、回答者の年齢層により意識が異なる。
- ・「人生の最期をどこで迎えたいか」について、「自分」に比べ「家族」については「不明」が多い。

1) 市外事業者の登録について（承認事項）

- ① デイサービスさるびあ岡崎（岡崎市戸崎新町6-21）
法人：株式会社さるびあ（安城市二本木新町1丁目15番地5）

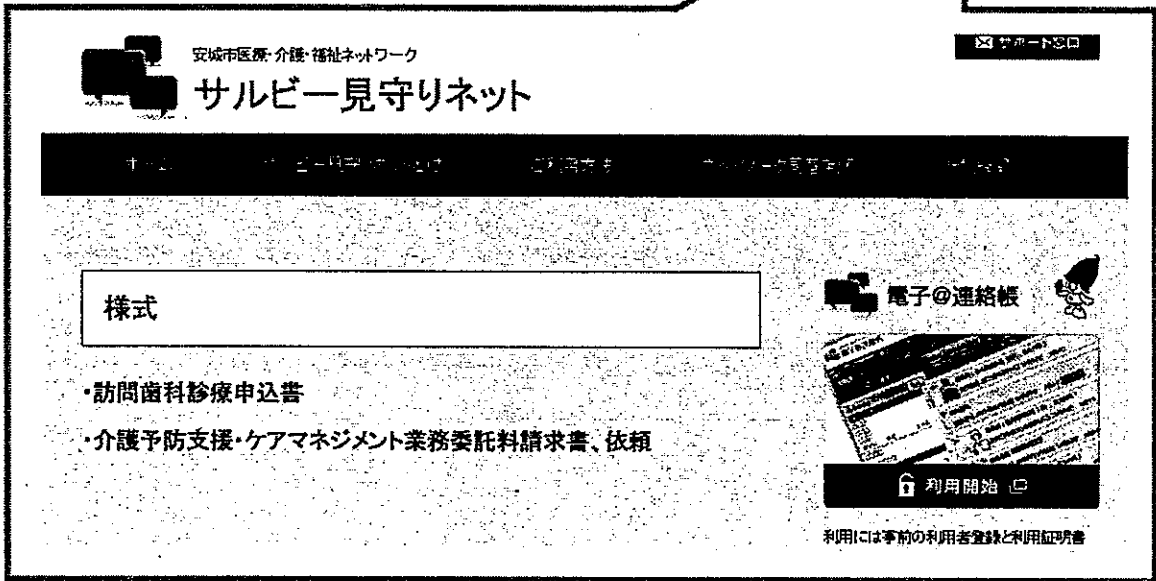
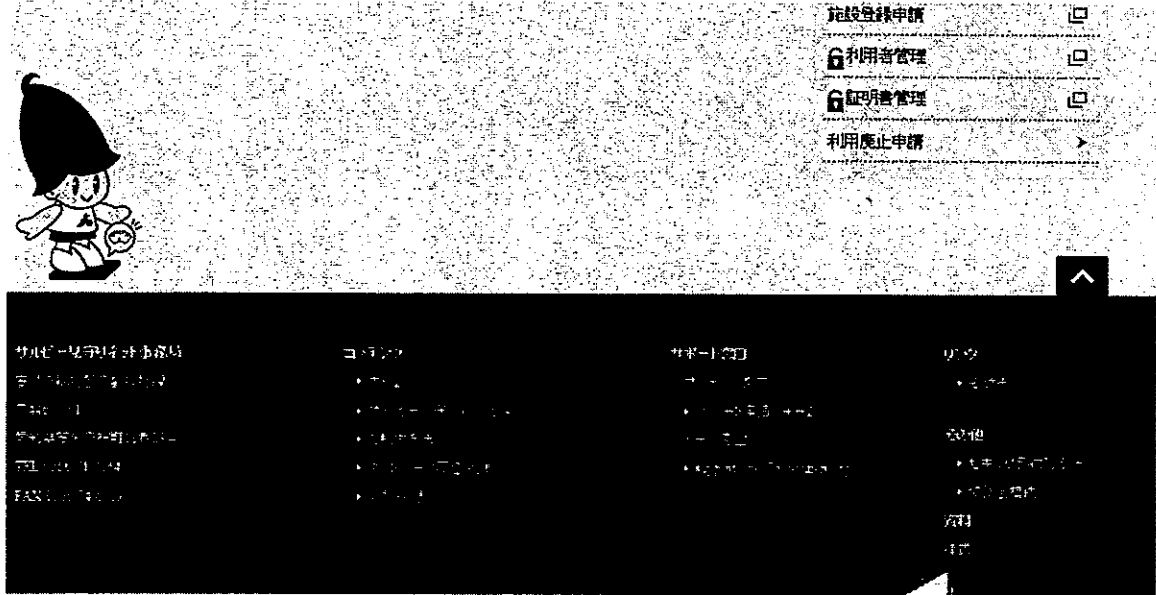
2) ポータルサイトの「様式」ページ新設について

- ① 掲載イメージ（裏面参照）
- ② 掲載ルール
- ・各職種間で利用する統一された様式であること
 - ・部会で承認を得た上で事務局に依頼をすること
 - ・削除、更新の管理は部会が行い、必要時は速やかに事務局に依頼すること

3) 「サルビー見守りネットの活用について」アンケートについて

「様式」 ページ

【イメージ】



平成29年8月 日

関係各位

安城市長 神 谷 学
(公 印 省 略)

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート（依頼）

日ごろは、市制にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市における地域包括ケアシステムの構築をめざす取組の一環として、在宅医療、介護における情報共有システム「サルビー見守りネット」の運用を開始してまもなく1年を迎えます。このシステムの普及と活用のため、運用上の課題の把握と解決策の検討のため、みなさまのご意見を伺いたく、アンケートを実施します。

つきましては別紙アンケートにご記入の上、FAXにてご回答いただきますようご協力をお願い致します。また、回答内容は事業所全体のご意見をまとめてご記入下さい。

なお、このアンケート結果は10月14日に開催する在宅医療・介護連携推進のための研修会「在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法」（医師会部会、ケアマネット部会主催）でも使用させていただきます。

問い合わせ先

安城市役所高齢福祉課地域支援係 担当 寺田

電話0566-71-2264

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート
(締め切り 8月31日)

安城市役所 高齢福祉課地域支援係 (寺田宛)

FAX (0566) 74-6789



事業(署名)	
<p>問1 サルビー見守りネットを活用していますか 該当する番号に○をつけてください</p> <p>1 登録して活用している ⇒問2、4へ 2 登録しているが活用していない⇒問3、4へ 3 登録していない⇒問3、4へ</p>	
<p>問2 活用してよかったこと、活用するメリット</p>	
<p>問3 活用しない(出来ない)理由</p>	
<p>問4 より良いシステムにするための提案</p>	

ご協力ありがとうございました。

地域に開かれた病院をめざして
支える、広げる、健幸“の輪”

見る・知る
体験する
役立つ



家族で
医療・介護に
親しもう、
楽しもう！

八千代 祭

YACHIYO
HOSPITAL
FESTIVAL
2017

申し込み不要
参加無料

※一部のワークショップで
材料費が必要です。

開催日時:2017年8月27日(日)
開催時間:10:00~15:00
場所:八千代病院 ※雨天決行

スタンプラリー

院内でスタンプを集めて抽選に挑戦!

当たる

八千代総合健診センターの
「脳ドック体験チケット」ほか
健康グッズが当たるチャンス!!

“サルビー”と“キーぼー”も
やってくる!



見学・体験

相談・展示

レクチャー・講演

キッズコーナー

チャリティバザー



市民
公開講座

認知症を知る講演会

皆様に認知症について知っていただくため、講演会を下記の日時と演題で開催いたします。是非ご参加ください。

会場：安城市文化センター マツバホール

日時：2017年9月30日(土) ※手話通訳・要約筆記付

開場：13:30～ 開演：14:00～

申し込み不要
参加費無料

当日は
先着順とさせていただきます。
(定員500名)

開会のあいさつ 14:00～

寸劇で知ろう認知症 劇団 サルビー見守り隊 (20分)

- 認知症かなと思ったら、まずはかかりつけ医へ相談
- 安城市見つかるつながるネットワークを知っていますか

講演 14:30～

2025年には認知症の人の数は高齢者の5人に1人になると言われています。自分や身近な人が認知症になっても安心して住み慣れたところで生活するにはどうしたらいいのでしょうか？

今回は武地^{たけち}一^{はじめ}教授をお迎えし、最近の認知症施策や認知症カフェについて講演していただきます。

「認知症とともに豊かに生きるために」(90分)

講師：学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学医学部

認知症・高齢診療科 教授

武地 一先生

閉会のあいさつ 16:00～

- 主催：社会医療法人 財団新和会 八千代病院、安城市、一般社団法人安城市医師会
- 問い合わせ先：安城市役所 高齢福祉課 TEL：0566-71-2264



安城市文化センター マツバホールのご案内

〒446-0041 安城市桜町17番11号 TEL:0566-76-1515



安城市
文化センター

安城市役所

安城
市民会館

サルビアホール

安城駅～市役所/1km

徒 歩 ⇒ 約10分

車 ⇒ 約4分

講演会場

安城市文化センター
マツバホール

駐車場について

文化センター、市役所が満車の場合は、
市役所立体駐車場（3時間まで無料）
をご利用下さい。

あんジョイ生活サポーター養成研修

あなたも高齢者の生活支援の
担い手となり、地域で活躍しませんか？



◆日時・場所・申込受付期限

コース	日にち(曜日)		申込受付期限	会場
	1日目	2日目		
第1回	9月7日(木)	9月8日(金)	8月31日(木)	北部福祉センター 研修室
第2回	9月19日(火)	9月20日(水)	9月5日(火)	作野福祉センター 集会室
第3回	10月14日(土)	10月15日(日)	10月2日(月)	桜井福祉センター 多目的室
第4回	10月25日(水)	10月26日(木)	10月11日(水)	安祥福祉センター 会議室
第5回	11月1日(水)	11月2日(木)	10月18日(水)	中部福祉センター 集会室
第6回	11月18日(土)	11月19日(日)	11月6日(月)	明祥福祉センター 集会室 1.2
第7回	12月9日(土)	12月10日(日)	11月27日(月)	西部福祉センター 集会室
第8回	12月20日(水)	12月21日(木)	12月6日(水)	総合福祉センター 会議室 1.2

各コースの開催時間は9:30~16:00(受付開始は9:00から)です。

変更・キャンセルは各申込受付期限までにご相談ください。

研修当日午前7時時点で、暴風、暴風雪等警報が発令されている場合は中止。後日振替日をご連絡します。

(詳細は、市ウェブサイトにて掲載。)2日間の研修です。終了後、安城市から修了証を発行します。

◆ 定員:各回10人 ※申し込み順で受け付けます。定員を越えた場合は、別日をご案内します。

◆ 持ち物:筆記用具/昼食

◆ 参加費:無料

◆ 申し込み:申込書にてFAX・郵送または電話でお申し込みください。(詳細は裏面参照)

研修では・・・

・「介護保険」「高齢者の特性」「接遇・マナー」

「生活支援の方法」「高齢者に多い病気や認知症に関する知識」

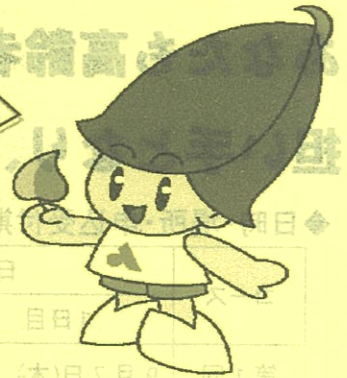
等について

講義を通じて生活支援に必要な知識を学んでいただきます。



安城市では、平成29年4月から、軽度の支援を必要とする 高齢者を対象とした生活支援サービスを開始しました！！

「支援を必要とする高齢者」に「掃除」「洗濯」等を
 お手伝いする「生活支援サービス」です。
 「住み慣れた地域で暮らし続けたい」そんな思いを応援します。
 高齢者を支える活動に興味のある方も大歓迎です



申し込み・お問い合わせ

〒446-8501 安城市桜町18番23号

安城市役所高齢福祉課高齢福祉係（月～金曜日）

FAX：(0566) 74-6789

電話：(0566) 71-2223（8：30～17：15）

切り取り線

あんジョイ生活サポーター養成研修

申込書

希望コース： 第 回

ふりがな
参加者名：

修了証に記載しますので
いい字でご記入ください

生年月日： 年 月 日

住 所：

電話番号： F A X：

緊急連絡がある場合につながる番号をお願い致します。

【個人情報の取り扱いについて】

お客様がご記入された個人情報は、当研修の目的以外に使用することはありません。

事務局チェック欄

--